

第 35 回 新型コロナウイルス感染症対策本部会議（要旨）

日時：令和 3 年 1 月 8 日（金）16:30～

場所：205 会議室

【確認事項】

防災監：昨日、一都三県を対象に緊急事態宣言が発出され、愛知県も緊急事態宣言を国に要請する方向となっている。この現状を踏まえ、市民に対しての注意喚起メッセージの発出と、今後の対応について確認したい。まず、現状を説明する。

防災交通課長：昨日（1月7日）、緊急事態宣言が発出された。期間は来月7日までで、感染リスクの高いとされる飲食店の営業時間短縮の要請が主な内容となっており、対象地域には、20:00以降の不要不急の外出自粛が要請された。飲食店の酒類の提供は、11:00から19:00までで、今回は小中学校の一斉休校は求められていない。他には、テレワークの徹底、イベント開催の要件厳格化等が挙げられている。

愛知県は対策本部会議を開催し、営業時間短縮要請の延長、夜間の不要不急外出の自粛要請を呼び掛けている。夜間外出の時間帯は特に設けられていない。

次に、1月7日の全国の感染者数は1日当たり7570名で過去最多となっており、愛知県、東京都等過去最多を更新している。多くの地域は、増加傾向にあり、新型コロナ対策の指標も危険領域は増えてきている。

犬山市内の感染者に関しては、11月以降から増加傾向にあり、20代と50代の感染者が増加しており、感染経路不明の感染者が増加している。これは全国的に言われていることだが、犬山市も例外ではない。犬山市の重症者については、愛知県が公表した時点では1名も確認されておらず、感染確認後に症状が悪化し、重症となった例は公表されていない。

防災監：愛知県でも感染が拡大しており、感染拡大傾向の状況を受け、市から市民への注意喚起メッセージを出したいと考えている。内容を固め、本日中に発出する予定である。

市長：報告の中にあつた重症者なしという情報はどこから入手している情報か。

防災交通課長：新型コロナへの感染が判明した時点での重症者は0だという意味。

市長：まずは県から情報収集を行い、細かい時点時点での重症者状況の情報共有をしていくべき。感染確認した時点の症状のみの発表で、重症者なしと発表するのは違和感がある。

防災監：愛知県において、死亡の情報は、該当市町村であっても公表していない。愛知県は発表をしない方針としている。

市長：重症者なしという発表は、いずれにしても勘違いを生む可能性が高い。公表方法に注意すること。例え事実であっても、市民に不信感を与えない表現で公表すること。

次に、注意喚起の対応についてだが、最近の傾向として、感染経路不明の感染者が確実に増加傾向にある。いつ、だれが、どこで感染してもおかしくない状況だということを、市民に伝えていきたい。外出自粛や一都三県への往来自粛については、みんな把握している。とにかく、意識改善を促す内容のメッセージとしたい。もちろん、普段から予防を徹底してもらっていることへの市民への感謝も忘れないようにしてほしい。

次に、愛知県の発表では、テレワークや職場の感染防止対策、労働時短の話があるが、市として民間企業の現状を把握した上で注意喚起していくべき。現状全て把握してくるのは難しいと思うがどうか。

産業課長：中小企業や個人経営店など含めると、数が多いため全て把握するのは難しい。商工会議所に一度確認する。

市長：市としても現状を把握すべきではないか、という認識を持って対策に当たること。

防災監：次に、今後の市役所の勤務体制について報告を。

経営部長：今回、県の発表では出勤者の50%減を掲げている。市でも第1波の際に交代勤務を行ったが、業務への影響や勤務体制に無理も生じたことから、今回は交代勤務以外の時差出勤、テレワーク、会議室の活用、勤務日の変更などにより、密な状態を減らすことを考えている。ただ、部署によって多忙な時期が異なるため、どのように組み合わせていくかは各所属長に一任したいと考えている。また、在宅勤務について、職場のパソコン環境を自宅で再現できるかどうかを現在調査している。県の50%目標はなかなか難しいとは思いますが、現状では、今報告した体制で進めていきたいと考えている。

防災監：今報告のあったように、交代勤務以外の様々な手段で感染拡大防止に努めていく。次に、ワクチンについて報告を。

健康推進課長：現段階でのスケジュールは、医療関係者がまず接種を行った後、高齢者などの市民への接種となる。医療関係者へは、医療機関が接種することになるが、市民への接種については、場所を含めて現在検討している。

市長：全ての情報が出揃うまで待つのではなく、現時点で準備できることは必ず準備すること。

次に、市民に見える化し、どういう人がどういう順番で接種していくのか、気になっている市民も多い。情報が伝わらないことで不安になる市民もいるので、判明している情報は、わかりやすく発信していくこと。ワクチンの話は全市民に影響のある話なので、伝える手段、タイミングを工夫してほしい。接種開始までに必要な準備として、難しいことはあるか。

健康推進課：スタッフの確保が課題で、これは医師会と調整を進めている。

市長：接種をする際には、完全予約制か。

健康推進課：事前予約のみでの対応を想定している。

市長：このような重要かつ数をこなす必要があるものはスピーディな対応が求められる。実施については、医師会と協議を進め、できるだけ早めの調整と準備により対応できるように進めるように。

健康推進課：医師や病院は、新型コロナの対応で手いっぱいということだが、お互い助け合いながら進めていきたいと考えている。

防災監：他に何か意見はあるか。

健康福祉部長：現状、公共施設に制限をかけていないため、市民健康館は現在20:30まで実施している。一都三県の要請に合わせ、20:00までに短縮してもよいのではないかと。

防災監：まずは、愛知県の公共施設の取扱いも見ながら市としても決定していきたいと考えている。

市長：愛知県に宣言が出た場合は、利用者に対して、注意喚起はしていくべきだと思う。「20:00以降のご利用はできる限りご配慮ください」といった内容で注意喚起していく。現段階では施設を閉鎖するという考えはない。ただし、利用に配慮してもらうように注意喚起を行うのは問題ない。

副市長：ワクチン接種については、現在医師会と調整を進めてもらっているが、今後、職員配置についても調整する可能性がある。

防災監：ほかに意見等なければ、以上で会議を終了する。これから愛知県も緊急事態宣言が出る可能性があるため、随時情報確認していきながら、対応していくこととする。